

# たかとり教会の宝物

## キリスト像



このキリスト像は1992年6月7日に建立されました。ベトナム人、韓国人、日本人が共に歩むシンボルとして台座に「互いに愛し合いなさい」ヨハネ 15. 17 とベトナム語、韓国語、日本語で刻まれています。1995年1月17日の阪神淡路大震災の時、このキリスト像の後ろで火災が止まったと報道で取り上げられ、そのことにより全国から多くのボランティアの方々が救援に集まってきました。キリスト像はそれからの歩みをずっと見守ってきています。



震災直後のキリスト像

## 祭壇

南木曾から送られてきた大きな切り株が祭壇になっています。震災後、南木曾からはたくさんの檜材をはじめ数々の救援物資を送っていただき復興を支えていただきました。南木曾とのつながりは今も続いています。切り株の中央にある空洞には焼け残った香炉がつり下げられています。



祭壇の内部

## 十字架の道行き

焼け跡から取り出した聖櫃、祭具がキリストの受難と重ねて「道行き」に組み込まれています。XVの御復活には焼けたパテナが使用され、磨いてもとの「ひかり」を取り戻しました。



## たかとりコミュニティセンター



キリスト像のもとに集まってきたボランティアの活動が、「鷹取教会救援基地」を経て「たかとりコミュニティセンター」に発展してきました。多文化共生を掲げ、国籍、人種、年齢、身体状況を超えて、互いに助け合い繋がって元気に生きられる地域を築いていこうと、教会の枠を超えた人々が集まり活動しています。

## たかとりの子どもたち

たかとりにはたくさんの子供たちがいます。多文化共生のもとで生きている子供たちは逞しく元気です。この子供たちこそたかとりのお宝です。この宝物をみんなの笑顔で喜びのうちに大切に育てていこうという思いでスローガンを掲げました。

**「ちがいは元気！こどもが元気！たかとり元気！」**

